平成 22 年 10 月 25 日

各　　位

会 社 名　五洋インテックス株式会社
代表者名　代表取締役社長　大脇　功嗣
（ＪＡＳＤＡＱ・コード 7519）
問合せ先
役職・氏名　総務経理部長　小林　光博
電　　話　0568-76-1050

業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年４月28日付当社「平成22年３月期決算短信」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

１．平成 23 年３月期連結業績予想の修正

（１）　第２四半期連結累計期間（平成 22 年４月１日～平成 22 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想（A）	530	△50	△50	△60	△9.88
今回修正（B）	454	△100	△111	△118	△19.57
増減額（B－A）	△76	△50	△61	△58	―
増 減 率	△14.3%	―	―	―	―
(ご参考)前期第２四半期実績 (平成 22 年３月期第２四半期)	492	△82	△83	△113	△18.61

２．平成 23 年３月期個別業績予想の修正

（１）　第２四半期累計期間（平成 22 年４月１日～平成 22 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想（A）	490	△50	△50	△60	△9.88
今回修正（B）	409	△98	△109	△116	△19.13
増減額（B－A）	△81	△48	△59	△56	―
増 減 率	△16.5%	―	―	―	―
(ご参考)前期第２四半期実績 (平成 22 年３月期第２四半期)	460	△74	△73	△102	△16.91

３．修正の理由

景気は、企業収益の改善から回復傾向がみられるものの、米国を中心とした海外経済の下振れや雇用環境の悪化、円高・株安など景気を下押しするリスクの存在により、引き続き厳しい状況が続いております。当社グループを取り巻く事業環境も、カーテン市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は増加しているものの、デフレの進行により依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況の下、当社グループは平成22年２月の会社体制見直しを機に、組織化した営業活動を実施いたしましたが、本来であれば前年に改訂予定の見本帳「サザンクロス」を、経済環境を考慮して今期に延期した影響が大きく、売上高は当初の予想より減少、利益面に関しましては、経費削減に努めましたが、見本帳「サザンクロス」の改訂に係る費用が予想より増加したことにより販売費及び一般管理費は増加、カーテン事業以外の新商品及び新サービスを創造するため業務提携に係る営業外費用等の発生により、当初の予想から損失が拡大する見込みとなりました。

なお、個別業績予想の修正理由は、上記理由と同様であります。

４．通期の見通し

通期の見通しに関しましては、事業環境は厳しいものの、平成22年８月に改訂発表しましたブランド「サザンクロス」の見本帳は好評を得ていることより、一層の販売強化に努め、住宅物件の完工の多い第３四半期以降に売上高の獲得を図ってまいります。

また、中間所得層の急激な増加によりカーテン需要が高まると考えられる中国におきまして、すでに中国で販売実績のある日本の会社を通じて、第３四半期以降に中国向けカーテンの販売を開始することにしております。

以上のことから通期の業績予想につきましては、現在のところ前回予想数値に変更はありません。

（注）　この資料に記載しております業績等の予想数値におきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上